

※本発表内容は、あくまでも研究員個人のものであり、我が国政府や当事務局の見解を代表するものではありません。

アフガニスタン復興とオーナーシップ促進：
過去の教訓と今後の取り組みについて

福永守雄

23年3月1日

於：第9回国際平和協力シンポジウム

発表の流れ

- オーナーシップの定義・国際平和協力における重要性・課題
- アフガニスタン復興：国際社会・国連の役割について
- 支援の一例：DDR（武装解除・動員解除・社会復帰）
- アフガニスタン復興総括
- 今後のアフガニスタンについて：国際社会の課題・対応
- 今後のアフガニスタンについて：所感・提言

オーナーシップの定義・国際平和協力における重要性



©Farhad Zalmi Sayeed

現地アクターの主体性、関与にあたるコンセプト。

- 政策等の決定において主導権を握ることはもちろん、当事国における様々な文化や伝統、ニーズをとらえることによって、現地に即した取り組みを行うのが狙い。
- 政府レベル（ナショナル）に加え、市民や地方レベル（ローカル）のオーナーシップも重要。
- 平和の持続性や安定性にかかわる要素。

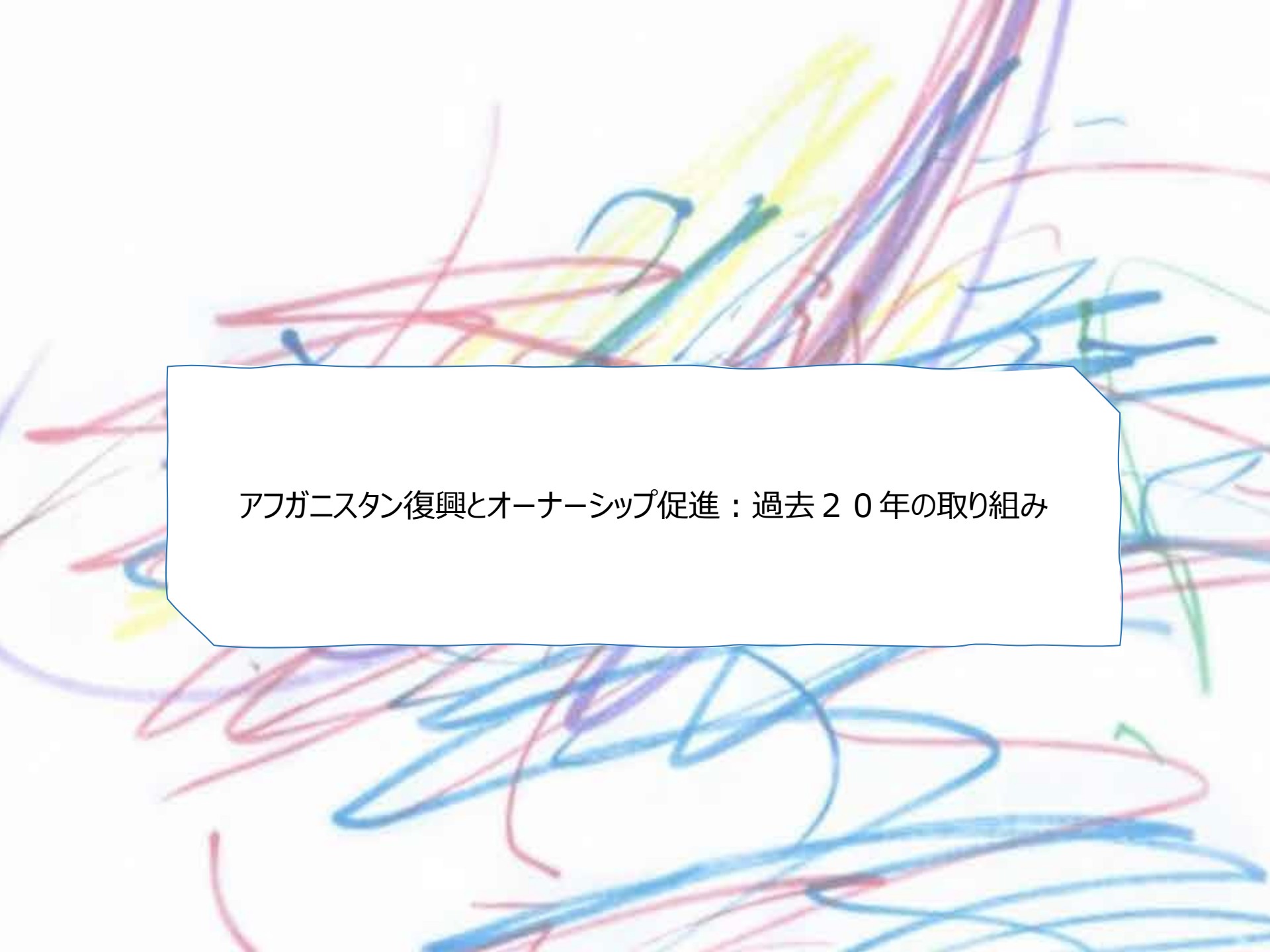
オーナーシップの定義・国際平和協力における課題



©Ahmad Masood/Reuters

オーナーシップを尊重する場合、いくつかの課題が生じる。

- 国際社会が掲げる価値観と齟齬が生じる可能性。
- すべての当事者が和平プロセスに協力的であるとは限らない。
- あらゆる分野でのキャパ不足。



アフガニスタン復興とオーナーシップ促進：過去20年の取り組み

アフガニスタン復興：国際社会の役割



©Eric Kanalstein/UNAMA

- アフガン政府が復興の方向性・目標等を示し、それを国際社会が後押し。
- 複数回開かれたアフガニスタン支援会合等で方針・目標等を成果文書等で具体的に調整。
- ドナーごとに主幹分野が割り振られ、日本は治安部門改革の中でDDRの支援をリード。

アフガニスタン復興：国連の役割について



©NATO

- 国連も国連アフガニスタン支援ミッション（UNAMA）を立ち上げ、人道・復興支援の調整を担った。
- 初代SRSGに就任したブラヒミ氏は国連平和活動に関し、「ライト・フットプリント」を提言。
- UNAMAもこのアプローチを採用し、現地アクターを主体的に関与させる体制を取った。

アフガニスタン復興：UNANAのマンデートなどから見えた全体像



©Tolqun News

- 政治プロセスの支援：政府・立法府・行政改革；選挙運営；和解・和平交渉など
- 治安：治安部門改革；治安対策の引継ぎ；麻薬対策など
- 人権：法的枠組みの整備；教育；モニタリング；人権侵害への対応など
- 開発：農業、投資環境、周辺国との貿易など

日本の支援一例：国連と共同で行ったDDR



©Department of Defense/
Jilian Torango

- 目的：
 1. 旧国軍部隊（軍閥勢力）を解体することによって治安を改善
 2. 中央集権による国家の建設
- 2004年1月のベルリン会合で、DDRは以下の目標を大統領選までに達成することが決定。
 1. すべての重火器の引き離しと中央政府による集中管理
 2. 軍閥兵士100,000人の40%に当たる人数の武装解除・動員解除

DDR : 成果と課題

成果

1. 旧国軍約6万名の武装・動員解除
2. 30,016人が社会復帰のプログラムを完了
3. 10,880機の重火器が中央政府の管理下に移行。
4. アフガニスタン大統領選挙実施のための治安対策に寄与。

課題

1. 国防省の関与によるDDRの中立性
2. 職業訓練等に必要な資材の確保
3. その後の治安対策と照らし合わせた評価



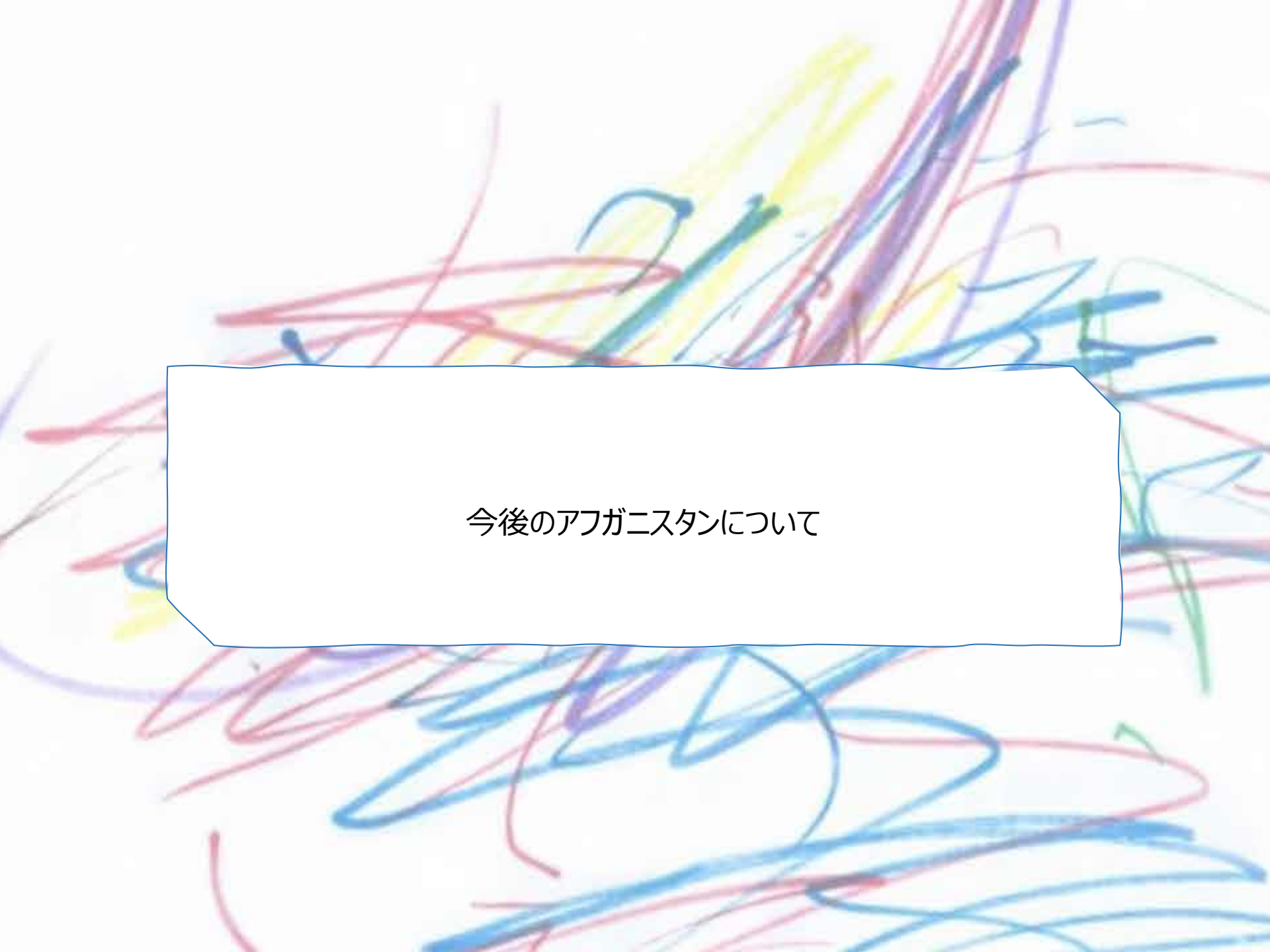
©Afghanistan New Beginnings Program

アフガニスタン復興：オーナーシップ促進の評価

1. 劣悪な治安環境と中央政府の弱体化
2. 長年の戦争で生じた負の遺産
3. 主要国の利権と和平プロセスの関係
4. 時間

総括：

- 20年程で自立・安定・繁栄を達成するには相当困難な状況であった。
- 女性の就労や教育などに関しては国民を後押ししたことにより、現在もタリバンに対応を求めている。



今後のアフガニスタンについて

国際社会が抱える課題



©AP Photo/Zabi Karimi

- タリバンによる政権奪取を発端とした、人道・経済危機
- タリバン独自のイスラム解釈による統治（女性の権利等）
- アルカイダ、ISKAP等の動き

国際社会が取っている対応



©UN Photo/Akram Darwish

1. 制裁等の維持（一部例外はあるが）
2. コミュニティへの直接支援（ABADEIなど）
3. タリバンへの働きかけ

所感・提言



©Shafiqullah Waak / UNAMA

1. 本格的な支援にはタリバン政権との連携、政権の関与が必要。
2. ただ、国際社会とタリバンの溝を埋めるのは困難。
3. 多方面から一致団結したアプローチで強く働きかけることが必要。



ご清聴ありがとうございました